

教科	農業	科目	森林科学	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	森林環境
使用教科書	森林科学 実教出版			使用副教材等	なし				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、森林の構造や機能並びに保全技術などを科学的に捉えるために必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	森林を構成する個々の要素について正しく理解し、森林の概念を身に付けている。生態系と多面的機能、森林の生態系と植生帯の分布、森林の遷移について自分の言葉でまとめ、他者に伝える技能を身に付けている。	現代の森林が抱える問題を理解したうえで、解決策を考え出すことができる。森林の生態系と環境問題を関連づけ、持続可能な開発目標の観点で考えることができる。	森林の役割や生態について関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付けている。
評価方法	・定期試験 ・小テスト ・グループワーク	・定期試験 ・ワークシート ・グループワーク	・授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ワークシートへの記入はしっかりできているか)

担当者からのメッセージ	・グループワークを取り入れた授業を行うので積極的に参加すること。
-------------	----------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4～ 7	第3章 ○造林と伐採、更新、保育 ・造林と伐採について理解する。 ・更新、保育について理解する。 ○造林の実際 ・造林の実際を知る。 ○森林の保育・保護 ・森林の保育・保護について理解する。	・森林の保育について興味を持ち、造林・管理について理解することができる。(知) ・森林の更新について意欲的に考え、自分の言葉で他者に伝えることができる。(思) ・造林方法を理解し、それぞれのメリット・デメリットについて考えることができる。(態)(思) ・森林の保育・保護について興味を持ち森林の重要性について理解することができる。(知)
2	9～ 12	第4章 ○治水の重要性 ・治水の重要性を理解する。 ○山地の荒廃 ・山地の荒廃の現状を理解する。 ○林道について ・林道の必要性について理解する。	・山地の保全について興味を持ち、治水の重要性について理解することができる。(知) ・山地侵食と溪流の荒廃について理解することができる。(知) ・林道の役割を理解し、林道計画と設計について考えることができる。(思)(態)
3	1～ 3	第5章 ○木材の生産 ・林木の伐採について理解する。	・伐採をめぐる問題について理解することができる。(知) ・日本の木材伐採について関心を持ち、問題点を考えることができる。(思)